

ASUKU ASK



09

2025

No.440



音羽ですすめる、ローカルSDGs

再エネ × 観光 × 音羽米

7月5日(土)、豊川市音羽地域で農業・商業等を営む方や、市・ひまわり農協・消費者等が一丸となりすすめる、国の3か年の交付金事業「農山漁村発イノベーション推進事業」の中間報告会、「音羽シンポジウム」が音羽文化ホールで実施されました。

音羽の魅力を発信！

生活クラブ愛知は、音羽米生産者であり「田んぼ電気プロジェクト」として生活クラブにも電気を供給するでんきの生産者でもある、こだわり農場すずきの鈴木晋示さんからのお声がけで、ワークショップに参加しています。

夢は大きく！

エネルギー顧問の半澤彰浩さんから「地域に資する再エネ電源開発」をテーマに基調講演、また若者を交えた



▲組合員のカンパで塗り直した看板の前でパチリ

クロストークでは「夢は大きい方がいい」との力強いエールもいただきました。これからの音羽に注目です！

9/21 音羽観光ツアー開催

9/21稲刈り体験企画に合わせて、音羽観光ツアーを開催！稲刈りの後に音羽めしスパイスカレー(音羽米食べ放題付)の昼食と観光スポットを回って音羽をまるごと体験！参加費は大人2,500円(税込)、子ども(3歳以上)1,500円(税込)

▶申し込みはこちらから



▲ワークショップ参加者によるクロストーク



▲生活クラブエネルギー顧問 半澤さん(左) 芝浦工業大学特任教授 吉岡さん(右)

会場には屋台やキッチンカー 音羽米利用の軽食も♪



▲音羽米アランチーニ(ライスコロケ)



▶音羽米生米パン

contents

P1 音羽地区ですすむ、ローカルSDGs

参加申込
QR有

P3 誰もが幸せになれる居場所づくり
尾張旭みんなの居場所プロジェクト

P2 タイヘイ(株)との提携50周年！
～木桶の贈呈と記念醤油の取組～

P4 とよたパクパク★展示会
「鶏肉アンバサダー」大募集！

参加申込
QR有

タイハイ(株)との提携50周年!

～木桶の贈呈と記念醤油の取組～

みんなで木桶を贈りましょう

生活クラブはタイハイ(株)との提携50周年を記念して醤油の木桶を贈呈します。

愛知で醤油と言えば下津醤油を利用している組合員が多いかもしれませんが、万能つゆやぼん酢しょうゆなどの調味料やドレッシング、ビオサポ食材セットなどタイハイの消費材のファンも多いのではないのでしょうか。

今回生産者は50周年を記念して昨年12月に特別な醤油の仕込みを開始しています。記念醤油セットは10月に事前注文を取り、2026年3月に届きます。価格に木桶代が含まれており、この取組で木桶の贈呈に参加できます。10月1回のカタログをお見逃しなく!

どうして木桶なの?

木桶の寿命は100から150年と言われ、長い年月をかけて木桶に住み着いた微生物が、醤油に複雑で深い旨みや風味を与えます。しかし手間とコストがかかるという理由で、現在木桶による生産量は全体の1%以下です。この木桶文化を生産者と一緒に守っていききたいという思いがあります。

提携50周年記念醤油セット

12000セット限定!

・丸大豆しょうゆ 300 ml

・減塩醤油(自然垂れ)300 ml

2本セット化粧箱入り

大豆は遊佐産、小麦は北海道産

税込1,296円



▲食をつむぐ人たち 醤油編から

「提携30周年を記念して「木永く木桶で醤油を醸造してほしい」との願いもこめて寄贈された木桶

みんなて ACTION

予約してお米を食べよう

昨年は庄内遊You米の圃場を見学し、今年は音羽田植え企画にも参加しましたが、どちらも本当に自然が豊かな環境で大切に育てられていると感じました。そして、生活クラブ組合員との関係をとても大切に考えていることも伝わりました。今回の米不足でも生産者の分を分けてでも組合員にお米を届けようとしてくれる気持ちがとても温かく、他ではなかなか築けない関係性だなと改めて感じます。だからこそ米不足の時だけではなく、食べ

続ける約束として「予約」することが大切です!

毎日の食事に欠かせないお米。息子達はシンプルな塩むすびが大好きです♡あとはサラダ海苔があれば、いくらでも食べられますね～。暑い時期は氷水でお茶漬けも好評♪ご飯が余ったー!というときはそのまま炊飯器で米麴とお水を入れて甘酒を作ったり、牛乳と素精糖で煮込んでライスプディングにしても一味変わって食べやすいです。残りご飯をマッシャーで少し潰して



▲100人が参加した田植え

蒸した芋類と一緒にライスコロケもよく作ります♪衣はパン粉だけで、衣に火が通れば良いので時短&楽々調理出来ますよ!是非お試しください♡

(単協消費委員 じんの愛伊)

誰もが幸せになれる居場所づくり

尾張旭みんなの居場所プロジェクト



地域の課題や現状を知り、実践につなげるため3ヶ月連続の学習会を開催しました。回を追うごとに参加者が増え、のべ90人以上が参加しました。

「学び」「気づき」「対話」

【第1回・4/23】

社会学を専門とし、尾張旭市の地域福祉計画に深く関わる松宮朝教授をお招きし、尾張旭市の市民意識調査や地域事例をもとにお話いただきました。「誰もが役割を持つこと」や、「同じメンバーで継続的に話し合うこと」の重要性を学びました。



▲愛知県立大学
教育福祉学部教授
あした 松宮 朝さん

【第2回・5/19】

フィリピンに10年間駐在し、そこでの活動を通して「多文化多世代」の居場所作



▲NPO 法人
アイキャン代表
福田 浩之さん

りを実践している福田博之さんからコミュニティ・オーガナイズングについて学びました。「仕方ない」で終わらせない地域づくりについて、美濃加茂市での活動における多くの人を巻き込む方法を伺いました。

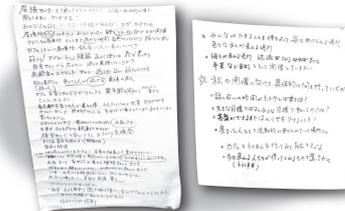
【第3回・6/23】

本プロジェクトのアドバイザーでもある朝倉美江先生からは「なぜ、いま居場所が必要なのか」をテーマに講演いただきました。居場所実例紹介には多くの関心が寄せられました。



▲金城学園大学
コミュニティ福祉
学科教授
みえ 朝倉 美江さん

学習会の中でそれぞれの講師の方から話題を提供していただき、後半はグループに分かれてディスカッションを行いました。すでに子ども食堂や居場所を作っている地域のリーダーも交え、「地域に必要なもの」「生協として

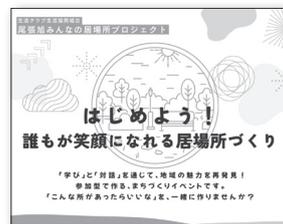


▲みんなの「やってみたい」を書きだし共有しました

生活クラブがどのように地域に貢献できるか」などを話し合いました。参加者一人ひとりが、自分ごととして居場所を考える機会になったと思います。

居場所の実現に向けて

6/2尾張旭センターにて、これまでの学習会参加者を中心に、振り返りと今後のアクションにつなげるワークショップを開催。いよいよ実践に向けて、動き出します。



▲学習会のチラシを見て参加した地域の人もいました

「帰ったら〇〇食べた
い!それぞれ一人暮らしをして息子達が帰ってくる時には、必ずリクエストがある。そして、おいしそうにたくさん食べてくれて、家のごはんは本当においしいよな」とうれしい一言も添えてくれる。次男が2歳の頃に加入してから、我が家の食卓には消費材が欠かせない。シェフではなくシユフなので(笑)おいしい料理を作るには消費材が不可欠だ。足りない料理の腕を素材の良さがカバーしてくれるのだ▼消費材を作ってくれる生産者の皆さんには本当に感謝しかない。生産者に会って感じるの一言で言うなら「熱い想いだ。そんな熱い想いで作ってくれた消費材を、私はこれからもずっと食べていこうと思う。」

(理事 堀美奈子)



7月事業報告

組合員数	加入	脱退
11,086人	116人	-139人
出資金	1人当り出資金	
1,365,464 千円	122,873 円	
供給高	1人当り供給高	
230,014 千円	21,809 円	

▼共済加入件数

ハグくみ	CO・OP共済	エコロ共済
1,328 件	4,738 件	8,564 件

生活クラブでんき契約者

累計446件(6月)
再エネ100%プラン 25件
時間帯別プラン 14件



生活クラブ
でんき

今月のリユース率

ビン 回収率(6月)
900mlびん…106.1%
500mlびん…77.5%
Rびん全体 …86.3%



グリーン
システム
30th
Reuse & Recycle

今回は
クリスマス正月用品の
試食もできます！



生活クラブの

とよたパクパク★展示会

10月11日(土)・12日(日) 各日 10:00~16:00

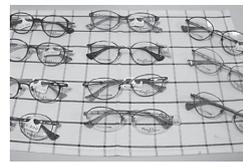
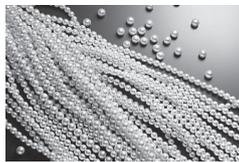
無料駐車場
あり

会場：豊田市産業文化センター(豊田市小坂本町1-25)
豊田市駅徒歩7分・新豊田駅徒歩4分

【出展予定生産者】

ベストファイブ(スーツ・シャツ)、PeaPod(シルク製品)、パラマウント(くつ)、
ファーレ(婦人服)、しむら(スキンケア)、アイ・メイト(めがね)、東京真珠(真珠・
宝飾品)、山甚物産(マットレス)、紀伊半島地域協議会(農産物ほか)など。

ぜひともお気軽にお越しください。スーツ・くつ・めがねコーナーは予約すると待
ち時間が少なくてたいへん便利！ 申込み・詳細は二次元コードへ！



「鶏肉アンバサダー」大募集！

みんなで鶏肉をパクパク！ あなたのSNSに共通ハッシュ
タグ(#生活クラブアンバサダー・#丹精國鶏)をつけて、
楽しい写真や感想を投稿してください。

アンバサダーには就任プレゼントをお送りします。

申し込み先：本部・井手

(masakazu.ide@s-club.coop)

件名を「アンバサダー募集！」応募締め切り：9月30日



生活クラブ愛知

公式LINE はじめました！

友だち登録をお願いします▶▶



組織再編で描く our story

◆固定観念を手放すことから

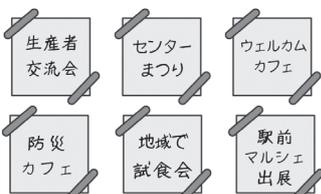
まずは、エリア経営委員を対象
とした「これからも続けたいこと」「
これからも出展したいイベント」を
出し合うワークショップを行いました。
「やらなくてはいけない(と、思
い込んでいた)ことは、一度忘れま

しょう！」を、繰り返し伝えます。

それでも「○○をするためには、
○○委員にならないといけないん
ですよね?」「○○は、やらなくて
はいけないんですよね?」の言葉が何
度も出てきます。そのたびに「自分
たちが必要だと思うことだけをやっ
ていきましょう」と伝え続けました。

ラバンをやりたい」「新しく加入し
た人たちに、消費材のことを伝え
たいからWelcomeカフェのお知
らせチラシを配布したい」「どうし
たら実現できるかな?」と前向き
な意見が飛び交い、場は楽しく盛
り上がりました。

「やりたいこと、続けたいこと」



地域で組合員を増やしたい!
消費材を好きになってほしい!

◆「やりたい」があふれる!

面白いことに「やらなくていい」
となると、「やりたい」「続けたい」
活動やイベントが、次々とできま
す。「地域で仲間(組合員)をもっ
と増やしたいから、定期的にキャ

◆次は、あなたの番です!

このワークショップの次は、全組
合員を対象として開催します。

私たちとつながって、あなたの
「やりたい」を、みんなの「やりた
い」にしていきましょう!

(理事長 中野 京子)